

指導を

ことのはにお願いしたのは、六年生の七月下旬からでした。とにかく国語をどうにかしたいのーバでした。小学校低学年の頃から、漢字と最初の文章題の文章を読み、少し問題を解いただけで終わっていました。どのようなに国語という教科にむき合えば良いのか親子でわからずいました。中学入試には間に合わないかもしれないと思います。なからの受講となりました。

先生とはス、ムでの授業でした。授業中、ついついボ、としてしまいう息子に適宜、的

りまじ。先生とはス、ムでの授業でした。授業中、
ついフイボ、としてしまふ息子に適宜、的
確に声かけをして、ににき、ス、ムだから不
足だと感じ、に事はありませんでした。宿題も
たくさん感じる量でした。にに、これをこなさないと
間に合わない。と必死でした。途中、つい弱気
になつてしまふ時もありました。にに、その都度、
先生から励ましをいただきました。親へのフ、オ、ロ、
までして、ににき、にに事が一番うれしかっ
た事です。線を引く、は、から読む方法や、要約
をする作業など、最初、は、ハードルが高く感じ

まゝに、必死で息子にやるように伝えまゝに。
入試が近づく頃になると、間違えても、
解説を読み、あ、そ、か、と自分の間違いに
気がつく事ができるようなりました。
すべての問題に解答する事はできなくても、自
分で判断して解くべき問題には確実に解きに
行く事ができていたと思います。先生は授業
後にその日の報告書を作成して下さるのです
が、それを親がノートに写し、息子にも読
ませ、過去問演習を意義のあるものにしてい
きました。

後、その日の報告書を作成して下さる
か、それを親バノートに写し、息子にも読
ませ、過去問演習を音義のあるものにしてい
きまいた。

ご縁のあった中学校に春から入学しますが、
中学生になってからも先生に引き続きご指
導をお願いする予定です。中学入試のつらい
時に、常によりやって下さった先生には感謝
の気持ちでいっぱいです。短期間にハードな
勉強だったにも関わらず息子は国語が得意
になれてうれいと言っています。これは、
先生のご指導のおかげ以外のものでした。
いと思っております。ありがとうございました。